



クマインド（公共の精神）を持った民間事業者、教育機関などとの間で締結した包括連携協定に基づいて住民に福祉、健康、スポーツなど多分野のサービスを提供するまちづくりも進んでいます。



協働のまちづくり



「♥」が町を変える

—官民連携の新たなまちづくり—



①⑥都市安全グループの交通安全教室②教育文化グループの週末ほっとワークス③産業観光グループのみよしっ子野菜市④緑のトラストなどの整備を行っているみよしグリーンサポート隊⑤⑦みよし野菜を使ったメニューの弁当を紹介する女子栄養大学の生徒。包括連携協定に基づく事業「癒しのレシピ」。

ハウやアイデア、教育機関の強みである知の財産などを互いに活かすことで町単体では難しい地域課題の解決やより良い住民サービスにつながることを期待されます。

新たなまちづくり

新型コロナウイルスの影響が長期化する今、多様化・複雑化するニーズに応えるためには、地域で生活する全ての人々と町が今まで以上に連携を深めながら、民間事業者や教育機関も一

緒にまちづくりに取り組んでいくことが必要かもしれません。今回の特集は「官民連携の新たなまちづくり—「♥」(想い)が町を変える」。町と住民、そして民間事業者や教育機関などの各種団体——。多くの人の想いがこもったまちづくりの取組に迫ります。

包括連携協定

また、近年では町がパブリック

みよしのまちづくり

三芳町では、「自立した活力のあるまち、住民自らが魅力あるまちとしてさらさら発展していく」ために平成20年に協働のまちづくり条例を定め、住民が主役のまちづくりを進めてきました。

ま

ちづくり——。行政だけでなく住民や民間事業者などが役割を分担しながら参加していく取組は「もっと暮らしやすく」「もっと魅力があるまちに」。そんな「♥」(想い)から始まっています。

まちづくりはつながり

協働のまちづくりネットワークの教育文化グループでは「週末ほっとワークス」という事業を行っています。地元の住民や企業、団体を講師として招いて講演会を開催し、地元三芳町の事を知ってもらう、「まちづくり」のコーディネートのような役割です。

まちづくりというおこごと大事と構え

てしまうかもしれませんが、まちづくりは「人と人とつながる」、「知り合いになる」ことが第一歩だと思っています。知れば知ったなりに「あいさつを交わす」、「声をかける」。そうして1人ができる小さなことが2人、3人とつながって大きなチカラになることがあります。そういった、人と人がつながるきっかけ。町を好きになるきっかけにもなればという想いで活動していますね。今後も地元の住民や企業、団体とのつながりを大切にしながら連携していきたいです。皆さんも、まずはご近所へのあいさつから。まちづくりを始めてみませんか。



協働のまちづくりネットワーク教育文化グループ 代表 上島 三介さん